



絵本のまち板橋

令和6年度
みなさんにおすすめしたい本

中学年

板橋区教育会学校図書館研究部
板橋区立図書館児童担当者

令和6年度 みなさんにおすすめしたい本

中学年向け

板橋区教育会学校図書館研究部
板橋区立図書館児童担当者会

No.	書名	作者	出版社	記号
1	「けんぼう」のおはなし	井上 ひさし/原案	講談社	E
2	ことばコレクター	ピーター・レイノルズ/作	ほるぷ出版	E
3	せかいでさいしよにズボンをはいた女の子	キース・ネグレー/作	光村教育図書	E
4	戦争が町にやってくる	ロマナ・ロマニーシン/作	ブロンズ新社	E
5	津波!!命を救った稲むらの火(他1冊)	小泉 八雲/原作	汐文社	E
6	1つぶのおこめ	デミ/作	光村教育図書	E
7	ヒョウのハチ	門田 隆将/ぶん	小学館	E
8	ライオンになるには	エド・ヴィアー/さく	BL出版	E
9	レッド あかくてあおいクレヨンのはなし	マイケル・ホール/作	こどもの未来社	E
10	やまをうごかしたミン・ローさん	アーノルド・ローベル/さく	好学者	E
11	小学校がなくなる!	麻生 かづこ/作	文研出版	917ソ
12	大坂城のシロ	あんずゆき/著	くもん出版	917ン
13	ケータイくんとフジワラさん	市川 宣子/作	小学館	91仔
14	アヤカシ薬局閉店セール	伊藤 充子/作	偕成社	911ト
15	AIロボット、ひと月貸します!	木内 南緒/作	岩崎書店	911キ
16	おうだんぼどうのムッシュトマーレ	香坂 直/作	小学館	91コカ
17	あしたもオカピ	斉藤 倫/作	偕成社	91サイ
18	おとな体験授業?	なががわ ちひろ/作	アリス館	911カ
19	タミーと魔法のことば	野田 道子/作	小峰書店	91ノタ
20	ぼくのジユウな字	春間 美幸/作	講談社	91ハル
21	世界で一番のねこ	藤野 恵美/文	アリス館	917ソ
22	俳句ガール	堀 直子/作	小峰書店	91ホリ
23	みんなふつうで、みんなへん。	柊野 浩一/作	あかね書房	91マズ
24	ごいっしょさん	松本 聡美/作	国土社	91マツ
25	角が曲がったみつき二号	麦野 圭/作	文研出版	91ムキ

物
語

☆リストの作成にあたっては次のようなことをめやすとして本を選びました。

1 たのしく、おもしろく読め、子どもの気持ちにあった親しみやすい本

2 子どものねれいに合った、読みやすく夢のある本

3 みんなが知っている有名なものがたりは、できるだけリストにいれないようにしました。

読書は、人生をより深く生き抜く力を身につけます。より多くの本との出会いを重ねるよ

う願っています。今回も皆さんが、本を選ぶ何らかの手がかりになるようにと、区内の小学校の先生と区立図書館の児童担当者でこの一覧表（改訂版）を作成しました。また、区立図書館や学校図書館には、よい本がありますので、ぜひ読んでみてください。

	No.	書名	作者	出版社	記号
物語	26	あららのはたけ	村中 李衣/作	偕成社	91ム
	27	介助犬チェリーのパピーウォーカー	山口 理/作	文研出版	91ヤ
	28	ルイーゼといじわるなへいたいさん	ルイス・スボドキン/作・絵	徳間書店	93ス
	29	ハンナの学校	ゲロリア・ウィーラン/作	文研出版	93ホ
	30	父さんのことば	パトリア・マクラクラン/作	リーブル	93マ
	31	こわいオオカミのはなしをしよう	ウィリアム・マクリー/作	岩波書店	93マ
	32	口ひげが世界をすくう?!	ザラ・ミヒエラ・ホロフスキ/作	岩波書店	94フ
	33	宿題ロボット、ひろったんですけど	トーマス・クリストス/作	あかね書房	94フ
	34	世界一の三人きょうだい	グードルン・メブス/作	徳間書店	94メ
ことば・詩	35	へいわとせんそう	たにかわ しゅんたろう/ぶん	ブロンズ新社	E
	36	絵本かがやけ詩（全5巻）	小池 昌代/編	あかね書房	E
	37	コトノハ町はきょうもヘンテコ	屋田 弥子/作	光村図書出版	91ヒル
社会・自然科学	38	おかえり、ウミガメ	高久 至/写真・文	アリス館	E
	39	チャールズ・ダーウィン、世界をめぐる	ジェニファー・サムズ/作	あかつき教育図書	E
	40	つちはんみょう	館野 鴻/作・絵	偕成社	E
	41	天国にとどけ!ホームラン	漆原 智良/文	小学館	36
	42	伝え守る アイヌ三世代の物語	宇井 真紀子/写真・絵	少年写真新聞社	38
	43	石の卵	山田 英春/文・写真	福音館書店	45
	44	うちにカブトガニがやってきた!?	石井 里津子/文	学研プラス	48
	45	わたしたちのカメシズかん	鈴木 海花/文	福音館書店	48
	46	プラスチック惑星・地球	藤原 幸一/写真と文	ポプラ社	51
	47	<u>もしも深海でくらしたら</u>	山本 省三/作	WAVE出版	55
	48	<u>錦鯉を創る 新潟から世界へ</u>	松沢 陽士/写真と文	小学館	66
	49	ぼくは、いつでもぼくだった。	いっこく堂/著	くもん出版	77
50	教え方のえほん	高野 紀子/作	あすなる書房	81	

※ 板橋区立図書館の本は「記号」で分類されています。

※ 書名にアンダーラインのある作品は、今年度選ばれた作品です。

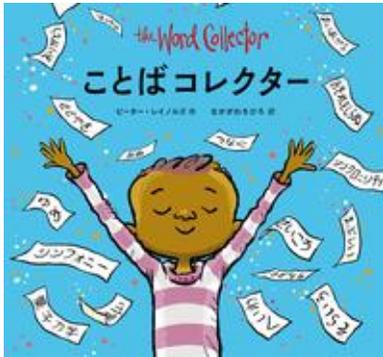
1



『けんぼう』のおはなし
井上ひさし／原案
武田美穂／絵
講談社

きみは^{せかい}世界でたったひとり。
だれともとりかえがきかない。
だからだいじ。一人ひとりみんなだ
じなのです。
作家・井上ひさしが、^{けんぼう}憲法への^{おも}思いを
やさしく^{かた}語ります。

2



「ことばコレクター」
ピーター・レイノルズ／作
なかがわちひろ／絵
ほるぷ出版

ジェロームは、^{ことば}言葉をあつめる「こと
ばコレクター」。すてきな^{ことば}言葉をあつ
めては、スクラップブックにきれいに
はります。ところがある日、せ^ひっかく
あつめた^{ことば}言葉がごちゃまぜに！
でも、ごちゃまぜの^{ことば}言葉をつなげてみ
たら…？

3



「せかいでさいしよに
ズボンをはいた^{おんな}女の子」
キース・ネグレー／作
石井睦美／訳
光村教育図書

おかしおかし、ほんの^{すこ}少しおかし。^{おんな}女
の子はズボンをはいてはいけませんで
した。「そんなの^{おも}おかしい！」と思った
メアリーは、ズボンをはいてでかけま
す。すると、みんなは…。アメリカで
あった、ほんとうのおはなしです。

4



「戦争が町にやってくる」

ロマナ・ロマニーシ／作

アンドリー・レシヴ／作

金原瑞人／訳 ブロンズ新社

ロンドは、やさしい人がたくさんすんでいて、にぎやかな町です。そんな町に戦争がやってきました。花はかれて、にぎやかだった町はまっくらになり、みんなげんきをなくしました。それでも町をまもろうと、ちからをあわせて戦争にたちむかいます。

5



「津波！！命を救った稲むらの火」

小泉八雲／原作

高村忠範／文・絵

汐文社

ある日、村で地震が起こった。小さな揺れだったため村人は気にしていなかった。しかし、津波が来ることにいち早く気づいた五兵衛が、村人を守るためにした行動とは…。これは、江戸時代に起きたほんとうのおはなし。

6



「1つぶのおこめ」

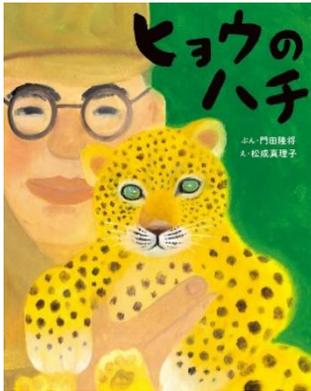
デミ／作

さくまゆみこ／訳

光村教育図書

昔ある王様が、人々の作ったお米をひとり占めしてしまう。そこでひとりの賢い村娘のとった方法とは…。楽しく学べる算数にまつわるインドの昔話。

7

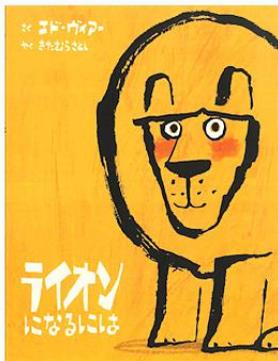


「ヒョウのハチ」

門田隆将／ぶん
松成真理子／え
小学館

せんじちゆう にほんへい ひろ
戦時中、日本兵に拾われた赤ちゃん
ヒョウのハチ どうぶつえん ひきと
動物園に引き取られる
と、またたく間に人気者に。しかし、
ハチを待ち受けていたのは悲しい未来
でした。平和の大切さを考えるきっ
かけになる、本当にあったお話で
す。

8

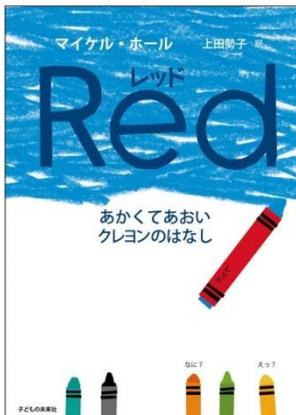


「ライオンになるには」

エド・ヴィアー／さく
きたむらさとし／やく
BL出版

ライオンは、おそろしくて荒っぽく
て、らんぼうな動物だと思っ
ていない？でも、レオナルドは、詩がす
きで、アヒルと友達
のやさしいライオン。ある日、他のライオン達から「ど
うもうになれ！」とつめよられ…。

9



「レッド」

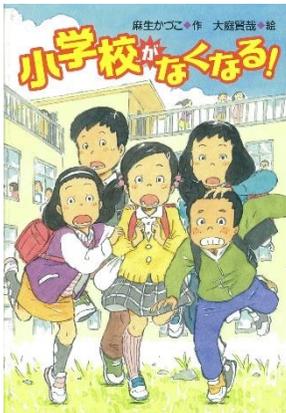
あかくてあおいクレヨンのはなし
マイケル・ホール／作
上田勢子／訳
子どもの未来社

あお
青いクレヨンだけドラベルは「レッ
ド」、赤くぬろうとすれば青になっ
て、みんなを困らせ、自分も悲しくなっ
てしまう。自分や友達がレッドだったら、
どうすればいいかな？お互いの見えな
い可能性を発見しよう！



「やまをうごかしたミン・ローさん」
 アーノルド・ローベル／さく
 こみやゆう／訳
 好学社

おおきな^{やま}山のふもとにくらすミン・ローさんは、山からの^{らくせき}落石や日あたりの^ひわささにこまっていた。そこで、^{むら}村にいるけんじゃに^{やま}山のうごかしかたをいくつか^{おし}教えてもらいます。さて、ミン・ローさんは山をうごかすことができるのでしょうか？さいごにくすつと^{わら}笑えるおはなしです。



「^{しょうがっこう}小学校がなくなる！」

麻生かづこ／作
 大庭賢哉／絵
 文研出版

^{みやこ}都 ^{しょうがっこう}小学校に^{かよ}通う^{あや}彩は、^{ねんせい}4年生になった^{しぎょうしき}始業式の日、^{わかば}若葉^{しょうがっこう}小学校と^{とうはいごう}統廃合されることを聞かされます。彩たちは、^{あや}統廃合してほしくない^{しちょう}と市長さん^{ねが}に^いお願いしに行くことにしました。^{じぶん}自分たちの^{がっこう}学校を残すことはできるでしょうか？



「^{おおさかじょう}大坂城のシロ」

あんずゆき／著
 中川学／絵
 くもん出版

^{おおさかじょう}むかし、大坂城にはトラがいました。そのトラのエサにするため、^{いぬ}犬をあつめているという^{いぬ}わさがながれます。サチのたいせつな^{いぬ}犬のシロも、つれていかれてしまいました。シロはどうなってしまうのでしょうか。

13



「ケータイクンとフジワラさん」
市川宣子／作
みずうちさとみ／絵
小学館

ガラケー電話のケータイクンが、ひとり暮らしのおじいさん、フジワラさんの家にやってきました。「ちゃららったらったら」とケータイクンになるたびに、フジワラさんが大切にしている家具たちが大さわぎ！楽しくてほっこりするおはなしです。

14



「アヤカシ薬局閉店セール」

伊藤充子／作
いつのかじ／絵
偕成社

近くのできたドラッグストアのせいで、お客がなくなった薬局がセールを始めると、次から次へとおかしな出来事が…。商店街にある閉店間近のアカシヤ薬局で起こる不思議でユーモラスなお話。

15



「AIロボット、ひと月貸します！」
木内南緒／作
丸山ゆき／絵
岩崎書店

小学4年生の栄太のもとに、自分そっくりのAIロボットがやってきました。かぞくや友だちにはないしよです。おつかいやテスト、栄太がたのんだことをなんでもやってくれるAIロボット。ある日二人はけんかして…。



「おうだんぼどうの
ムッシュトマーレ」
香坂直／作
フィリケえつこ／絵
小学館

ムッシュ・トマーレはおうだんぼどう
の見はり番。真っ赤な服におかしなフ
ランス語をつかうあやしいおじさんだ
けど、心のなかの信号が赤になった
ときに助けてくれます。その信号、
本当にわたってもだいじょうぶです
か？



「あしたもオカピ」

斉藤倫／作
fancomi／絵
偕成社

動物のねがいがかなう「よつば月」の
夜。オカピは動物園のおりをあけて、
ながいはながコンプレックスのゾウ
や、ポケットのいらぬカンガルーな
どのたくさんの動物にであいます。オ
カピはよつば月ににをねがいます
のでしょうか？



「おとな体験授業？」

なかがわちひろ／作
アリス館

理科室での特別じゆぎょう。「どんな
おとなになりたいか」を紙に書いてビー
カーの中に入れて、ゆげがひろがっ
てきて…。気づけばおとな体験の世界
にいます。みんなそれぞれお仕事をし
ながら、いろんな発見をするふしぎな
お話です。



「タミーと魔法のことば」

野田道子／作
クボ桂汰／絵
小峰書店

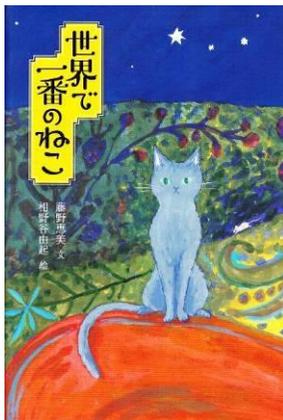
誕生日に古いトランクを買って
もらった9才の女の子タミー。
ある夜、そのトランクから出てきたエンピツがしゃべりだしました。エンピツは魔法で姿を変えた魔術師だったのです！タミーの冒険が始まります。



「ぼくのジユウな字」

春間美幸／作
黒須高嶺／絵
講談社

字を書くことが大きいな3年生の龍彦。書道教室で出会った道子先生におかしなまじないをかけられてしまいました。その日から、書いた字が消えたり、いどうしたり大あばれ！自分が書く字のことが気になっちゃうお話。



「世界で一番のねこ」

藤野恵美／文
相野谷由起／絵
アリス館

エトワールはコンテストで一等賞に選ばれた、世界で一番美しいねこ。ところがある日、ひふの病気になってすてられてしまいます。生きるためにみつけたねずみとりの仕事。エトワールはねずみとりで一番をめざします。



「俳句ガール」

堀直子／作
高橋由季／絵
小峰書店

おばあちゃんが通うケアハウスで俳句と出会った4年生のつむぎ。ある日、黒板に書いたつむぎの俳句のとなりにべつの俳句が書かれていて教室は大きなわぎ！五・七・五の十七音で気持ちを表す俳句の楽しさが伝わるお話。



「みんなふつうで、みんなへん。」

柘野浩一／作
内田かずひろ／絵
あかね書房

「ぼー」と聞いて野球のボールだとも思ったら、お料理につかうボウルだった。聞きまちがいやかんちがいしちゃうのは「へん」かな？みんなが「あるある」って思える短いお話がたくさんはっています。



「ごいっしょさん」

松本聡美／作
佐藤真紀子／絵
国土社

「ごいっしょさん」って妖怪、知ってる？勇気がほしいとき、そばにいてパワーをくれるんだ。関くんのかいた絵から、クラスでそんなうわさが広まった。ふしぎであったかい、友情の物語。



「^つ角が^ま曲がった^にみつき^{ごう}二号」

麦野圭／作

高山ケンタ／絵

文研出版

パパの^{えいきょう}影響で^{ようちゆう}幼虫からカブトムシを^{そだ}育てても、^つ角が^ま曲がって^{せいちよう}成長してしま^う。そのことを^{ともだち}友達に^{ともだち}からかわれても、^{みつ}充希と^{あね}姉は^{きょうりよく}協力しながら、^{けんめい}けんめいに^せ世話を^{つづ}続ける。生き物を^{そだ}育てる^{たの}楽し^ささ、^{いのち}命の^{たいせつ}大切さを^{かんが}考える^{もの}物語。



「あららのはたけ」

村中李衣／作

石川えりこ／絵

偕成社

^と都会育ちの^{えり}えりが、

「やってみなくちゃ、わからない」と^じ自分の^{はたけ}畑をはじめることに。^{はたけ}畑には^{いま}今まで^き気づかなかった、^{つよ}強くたくましく^い生きる^{しよくぶつ}植物や^{どうぶつ}動物の^{すがた}すがたがあっ^たた。「あらら」とおどろくエピソードが^いいっぱい。



「^{かいじょけん}介助犬^{チェリー}の
^{ハッピー}ハッピー^{ウォーカー}ウォーカー」

山口理／作

岡本順／絵

文研出版

^{かいじょけん}介助犬とは、^{からだ}体が^{ふじゆう}不自由な^{ひと}人の^{サポー}サポートをする^{いぬ}犬のこと。ある日、^{ふうた}風太と^{かぞく}家族は、^{しやうらい}将来^{かいじょけん}介助犬になる^{よてい}予定の^{チェリー}チェリーという^{いぬ}犬をあずかることになりました。^{ふうた}風太たちは、^{チェリー}チェリーを^{りっぱ}りっぱに^{そだ}育てることが^{できる}できるので^{しょうか}しょうか？



「ルイージといじわるな
へいたいさん」
ルイス・スロボドキン／作・絵
こみやゆう／訳
徳間書店

ルイージがバイオリンの先生せんせいのところ
へ通かようバスでは、へいたいさんが、悪わる
い人ひとはいないかしらべています。
あるときから、ルイージは新入りしんいのへ
いたいさんに目めをつけられてしまいま
すが…。



「ハンナの学校がっこう」

グロリア・ウィーラン／作
中家多恵子／訳
スギヤマカナヨ／絵
文研出版

ハンナは目めが見えない『かわいそう
なおんな女この子め。目めが見えないから学校がっこう
にも行いっていかない。
あたらあたらしい先生せんせい、ロビン先生せんせいとでの会あい
により、ハンナははじめて学校がっこうに行いく
ことになって…。



「とう
父さんのことば」

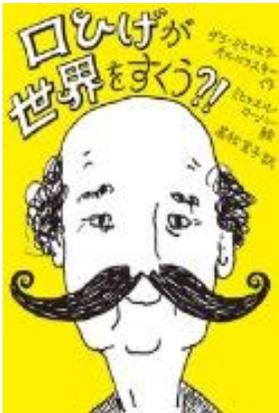
パトリシア・マクラ克蘭／作
若林千鶴／訳
石田享子／絵
リーブル

フィオナの父とうさんはみんなに愛あいされる
精神科医せいしんかいいでしたが、とつぜんの事故じこで
死しんでしまいます。
深ふかく悲かなしむフィオナでしたが、保ほ護ごさ
れた犬いぬを世話せわするボランティアを
するこすこで少すこしずつ笑えがお顔をと取り戻もどして
いきます。



「可愛いオオカミの
はなしをしよう」
ウィリアム・マクリーリー／作
佐竹美保／絵
小宮由／訳
岩波書店

マイケルはパパのおはなしがだいす
き。新しいおはなしは「ニワトリの
はなし」。でもマイケルはぜっ対にオ
オカミを登場させたい！おはなしが
どうなるのかは、パパとマイケルしだ
いです。さて、つづきはどうなるでし
ょう？



「口ひげが世界をすくう?!」
ザウ・ミヤエウ・ルロフスキー／作
ミヒヤエル・ローハー／絵
若松宣子／訳
岩波書店

おばあちゃんがなくなって、すっかり
元気をなくしたおじいちゃん。かなし
みを乗り越え、「世界ひげ大会」に
出場することにしました。
ぼくもおじいちゃんが優勝できるよ
うに手伝います。ユーモアあふれるイ
ラストも楽しい本。



「宿題ロボット、
ひろったんですけど」
トーマス・クリストス／作
もりうちすみこ／訳
柴田純与／絵
あかね書房

リヌスがひろったのは、研究所から逃
げ出してきたロボット「オルビー」。オ
ルビーは、リヌスの宿題をあっという
間に片づけてくれます。
そんなある日、オルビーをねらう悪者
があらわれて…。



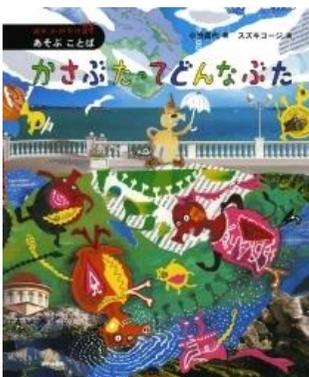
「^{せかいいち}世界一の^{さんにん}三人きょうだい」
グードルン・メプス／作
はたさわゆうこ／訳
山西ゲンイチ／絵
徳間書店

マキシはパパとママがいない^{あいだ}間、まだオムツのとれない^{おとうと}弟といっしょに^{だいがくせい}大学生のお兄ちゃんの家^{いえ}でくらすことに…^こ子どもだけの生活は^{せいかつ}大へん^{たい}だけに、はじめてのことがいっぱい^うでぼうけん^{けん}みたい！



「へいわとせんそう」
たにかわしゅんたろう／ぶん
Noritake／え
ブロンズ新社

へいわ^{へいわ}の^{けしき}景色と^{せんそう}戦争の^{けしき}景色は、ちがうところがたくさん。でも、^か変わらないものもあります。あなたは、この本を^{ほん}読んで^よどんなことを^{おも}思うでしょう？



「^{えほん}絵本かがやけ詩^し（全5巻）^{ぜん}」

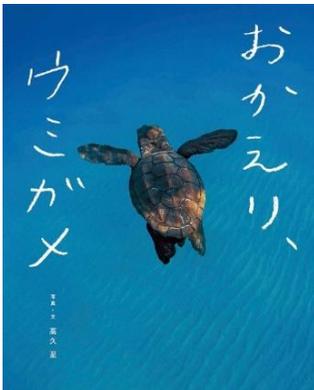
小池 昌代／編
あかね書房

^{わら}笑っちゃうような詩、ドキリとする^し詩、^{こえ}声に出すと^{たの}楽しい詩、これって^{じぶん}自分のこと？と^{かん}感じる詩など、^{いろ}色々な詩がのっています。タイトルによって^しテーマや^え絵を描いている^{ひと}人も^{ちが}違うので^{おき}お気に入りの^い1冊を^{みつ}見つけてね。



「コトノハ町はきょうもヘンテコ」
 昼田弥子／作
 早川世詩男／絵
 光村図書出版

ことわざが言葉どおりになってしまう
 コトノハ町に住むレンちゃんのゆかい
 な毎日。「道草をくう」とか「ひざが
 わらう」ってどんな感じ？6つのお
 話に出てくることわざの意味がわか
 る「じてん」付き。



「おかえり、ウミガメ」
 高久至／写真・文
 アリス館

ウミガメの赤ちゃんが砂浜を元気よく
 海におかえり、進んでいきます。
 それから20年後、また生まれた砂浜
 にもどって来るのです。広い海の中を
 およぎまわるウミガメのことがよくわ
 かる、写真えほんです。



「チャールズ・ダーウィン、
 世界をめぐる」
 ジェニファー・サムズ／作
 まつむらゆりこ／訳
 あかつき教育図書
 博物学者を目指す、若きチャールズ・
 ダーウィンは調査船ビーグル号に乗り
 こみ、冒険の旅にでかけます。さまざ
 まな生き物との出会いと、発見をくり
 返しながらかは南アメリカをめぐ
 り、ガラパゴス諸島にたどり着きまし
 た。



「つちはんみょう」

館野鴻／作・絵
偕成社

「つちはんみょう」という虫を知っていますか？

虫がきれいな人も、この絵本ならきつとだいじょうぶ。

美しい絵が生き物の生きるすばらしさを教えてくれます。



「天国にとどけ！ホームラン」

3・11を乗り越えて、バッティングセンターを作った父子の物語」

漆原智良／文
羽尻利門／絵

小学館

津波ですべてをうしなった太くんとお父さん。2人をささえた夢はいつしか街のみんなの夢となっていきます。

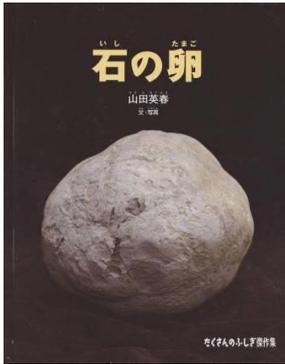
心の復興をかんがえる本当にあったお話。



「伝え守る アイヌ三世代の物語」

宇井真紀子／写真・絵
少年写真新聞社

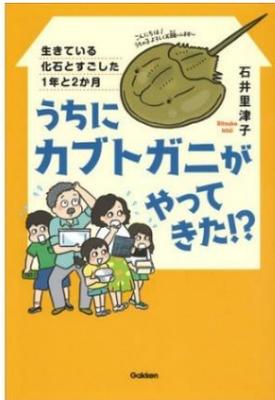
アイヌ民族は、日本におかしから住んでいる民族です。アイヌ民族のおじいちゃんは北海道に住んでいて、なんでもできます。小屋をつくったり、さかなをさばいたり。しぜんのめぐみを大切にしながらくらしています。アイヌ民族の生活をのぞいてみましょう！



「石の卵」

山田英春／文・写真
福音館書店

見た目はただのまるい石だけど、二つにわると、なかから色とりどりのきれいなものがでてくる石を知っていますか？「ドラゴンの卵」や「かみなり卵」とよばれる、自然の力によってつくられたふしぎな石のお話です。

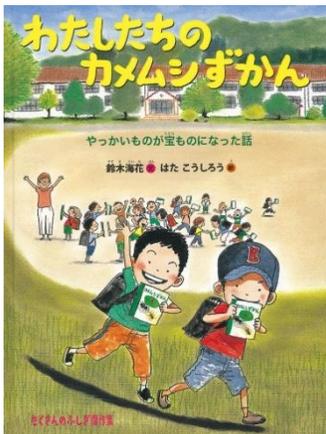


「うちにカブトガニが
やってきた!？」

石井里津子／文
松本麻希／絵
学研プラス

「生きている化石」と言われるカブトガニ。そのカブトガニのたまごを夏休みの自由研究でふ化させる!? しかも家です!

ドキドキワクワクハラハラの飼育日記をのぞいてみましょう。



「わたしたちの
カメムシずかん」

鈴木海花／文
はたこうしろう／絵
福音館書店

岩手県にある小さな小学校。校長先生のすすめで全校児童29人は「カメムシはかせ」を目指します。くさいカメムシをどんどん調べて記録して、とうとう「ずかん」ができました。調べ学習のヒントになるかも。



「プラスチック惑星・地球」

藤原幸一／写真と文
ポプラ社

レジ袋やストローなどに使われているプラスチック。世界中でたくさん作られ、ごみとしてすてられます。あふれるプラスチックごみでこまっている生きものを通して、地球の未来を考える写真絵本。



「もしも深海でくらしたら」

山本省三／作
長根浩義／監修
WAVE 出版

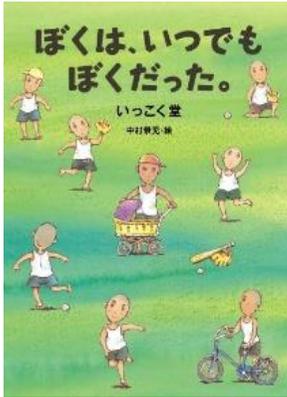
お父さんが働いている深海ステーションにとまりにきたえいとくん。光がとどかない深海はどんなところなのか、どうやって生活するのかを知ると、おどろきがたくさん！ほんの少し未来の深海の世界をしょうかいします。



「錦鯉を創る 新潟から世界へ」

松沢陽士／写真と文
小学館

新潟県の雪深い土地で美しい色の鯉が生まれました。よく見る黒い鯉ではなく、色あざやかな鯉はいったいどうやって生まれたのでしょうか。世界中で愛される「錦鯉」がどのようにつくられるのか、よくわかる写真絵本です。



「ぼくは、いつでもぼくだった。」
 いっこく堂／著
 中村景児／絵
 くもん出版

おきな ころしゅじんこう ひ こ おきなわ
 幼い頃主人公が引っ越した沖縄は、
 まだ「外国」だった。米軍基地に忍び
 こ 込んで遊んだ小学生時代、仲間外れ
 にくる ちゅうがっこうじだい なかまはず
 に苦しんだ中学校時代…。その中
 で、ふくわじゆつ うんめいてき て あ は
 腹話術との運命的な出会いを果た
 す。



「数え方のえほん」
 高野紀子／作
 あすなろ書房

おな どうぶつ
 同じ動物なのに、ひつじは「一匹」、牛
 は「一頭」。どうして数え方がちがう
 のかな？ 知っているようで、知らない
 みちか にほんご かぞ かた ほん
 い身近な日本語の数え方についての本
 です。いろいろな数え方を知っていれ
 ば、みんなにじまんでできるかも？

令和6年度
 みなさんにおすすめしたい本
 中学年

令和6年4月発行
 編集 板橋区教育会学校図書館研究部
 板橋区立図書館児童担当者会
 発行 板橋区立中央図書館